SG336

簡易取扱説明書

２Ｄイメージスキャナ SG336(以下、スキャナ)をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用の前に必ずこの簡易取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みになられた後は、大切に保管願います。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

■表記上のお約束

注意　スキャナを使用する際に注意していただきたいことを説明しています。

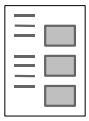
メモ　スキャナを使用する際の補足的なことを説明しています。

特長

- 高性能２Ｄスキャンエンジン搭載
- １Ｄと２Ｄの両シンボル読取り可能
- オペレータの手によくなじむガンタイプ
- スキャナの読取りデータは Windows ベースの ICM（Imager Configuration Manager）ソフトウェアを介してアプリケーションへデータ入力します。

梱包内容の確認

本体



簡易取扱説明書
（本書）

ＣＤ－ＲＯＭ

安全上のご注意

ご使用になる人やその他の人への危害や財産への損害をあらかじめ防止するため、本製品のご使用の前に必ず本内容をよくお読みになり、お守りくださるようお願いします。

■本書の記載内容を守らない使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で説明しています。

⚠危険	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は「損害を負う可能性または、物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵区分で説明しています。

表示	内　容
	この記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
	この記号は、「分解」を禁じる内容です。
	この記号は、「覗き込むこと」を禁じる内容です。
	一般的な機器の取扱上で何らかの注意が必要で、人に何らかの危害または、機器に何らかの障害が起こる可能性があることを促す警告表示です。
	故障により、人に何等かの危害または、機器に何等かの障害が起こる可能性がある場合、パソコンのＵＳＢポートから抜くことを促すための警告表示です。

⚠危険

	分解したり改造したりしないでください。ショートや発熱より、感電ややけど・火災の原因となります。

⚠警告

	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。スキャナ接続ＵＳＢケーブルをパソコンから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。
	万一、機器の内部に水などが入った場合は、まずスキャナ接続ＵＳＢケーブルをパソコンから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	万一、機器の内部に異物が入った場合は、まずスキャナ接続ＵＳＢケーブルをパソコンから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	万一、この機器を落としたり、機器のケースを破損した場合は、スキャナ接続ＵＳＢケーブルをパソコンから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	接続ＵＳＢケーブルが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	接続ＵＳＢケーブルの上に重い物をのせたり、コードが機器の下敷きにならないようにしてください。接続ＵＳＢケーブルが傷ついて、火災・感電の原因となります。
	接続ＵＳＢケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。接続ＵＳＢケーブルが破損して、火災・感電の原因となります。
	レーザー光を使用しております。レンズなど光学機器でビームを覗き込まないでください。失明や障害の原因となります。
	レーザー光を使用しております。レーザ光出口よりビームを覗きこまないようにしてください。
	レーザー光を使用しております。レーザ光を人に向けて放射しないでください。

⚠注意

表示	内　容
	油煙や湯気があたるような場所、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	濡れた手で接続ＵＳＢケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	接続ＵＳＢケーブルを抜くときは、ケーブルを引っ張らないでください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。
	スキャナ器のお手入れの際には、安全のためまずスキャナ接続ＵＳＢケーブルをパソコンから抜いて行ってください。火災・周囲を汚損する原因となることがあります。
	落下させたり、強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	小児には使用させないでください。
	直接日光のあたるところや炎天下の車内、火のそば、ストーブの前面など高温の場所に放置しないでください。

使用上のご注意

スキャナの性能を損なわずに正常に動作させるため、下記の事項に注意してください。

●スキャナに過度のストレスを加えないでください。故障の原因になります。

●次のような場所には設置しないでください。誤動作や故障の原因になります。

・直接日光の当たる場所　・磁界や誘導ノイズが発生する場所　・ほこりの多い場所
・湿度の高い場所　・水の近くや水のかかる場所　・振動や衝撃がかかる場所
・温度が極端に高い場所　・温度が極端に低い場所　・不安定な場所

また、保管の際も上記の環境にご留意ください。

●スキャナは絶対に分解しないでください。

●スキャナは、設定データ保存用に不揮発性メモリを搭載しています。スキャナへの設定を行っている最中にＵＳＢケーブルを抜かないでください。データが破壊され、誤動作を起こす可能性があります。

●スキャナを清掃する場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を薄めたものを少量含ませた柔らかい布で内部に水分が入らないように拭いてください。

インストール及び接続方法

①ご使用になるパソコンの電源をいれて Windows®を起動します。
②付属のＣＤ－ＲＯＭをパソコンに入れてください。
③自動的にメニュー画面が起動します（起動しない場合『 index.htm 』をダブルクリックしてください）。
④まず、[SG336 用 USB ドライバ] をインストールします。
「Install USB Driver」メニューをクリックするとインストールが開始されます。画面に表示される手順に従い、インストールを完了してください。
⑤次に、[SG336 用 ICM（Imager Configuration Manager）] をインストールします。
「Install ICM Configuration Software」メニューをクリックするとインストールが開始されます。画面に表示される手順に従い、インストールを完了してください。
⑥２つのインストール完了後、スキャナをパソコンのＵＳＢポートに接続してください。

メモ
インストールを行う際、administrator(管理者権限を持った状態)でログオンしてください。

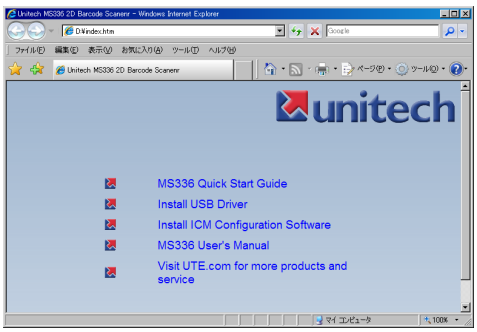
■SG336 用 USB ドライバのインストール

例）パソコンのＯＳが Windows® XP の場合

1

パソコンに付属のCD－ROMを入れます。自動的に右のメニュー画面が表示されます。「Install USB Driver」メニューを右クリックして、「対象をファイルに保存」を選択し、ファイル「MS336_USB_Driver.zip」を任意フォルダに保存します。

メモ
画面が表示されない場合は『index.htm』をダブルクリックしてください。

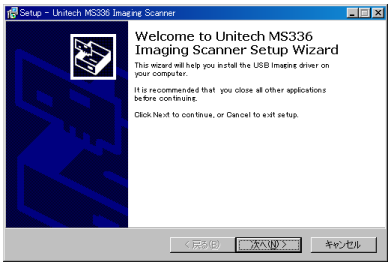


2

保存したファイル「MS336_USB_Driver.zip」を解凍し、解凍フォルダ内にある「MS336DriverInstall.exe」をダブルクリックします。

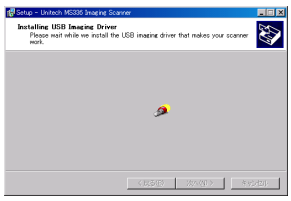
3

右のインストール開始ウィザードが表示されたら「次へ(N)」を押します。



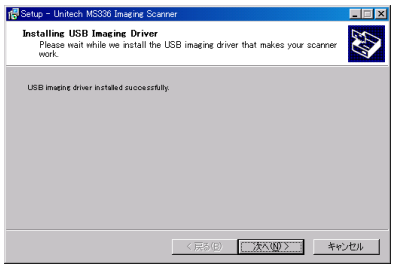
4

USB ドライバの検索を開始します。



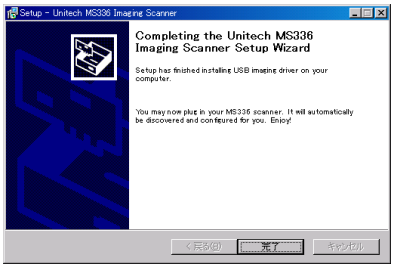
5

USB ドライバの検索が終了すると右のウィザードが表示されます。
「次へ(N)」を押します。



6

インストールが完了しましたので「完了」を押します。



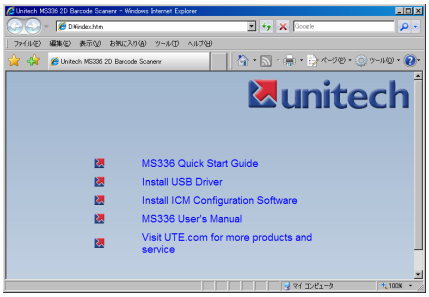
■SG336 用 ICM(Imager Configuration Manager)のインストール

例) パソコンのＯＳが Windows® XP の場合

1

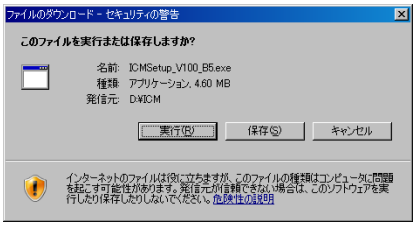
パソコンに付属のCD－ROMを入れます。自動的に右のメニュー画面が表示されます。
「Install ICM Configuration Software」メニューをクリックします。

メモ
画面が表示されない場合は『index.htm』をダブルクリックしてください。



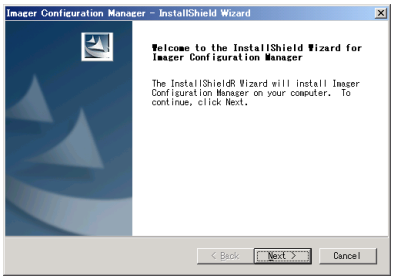
2

右のウィザードが表示されたら「実行(R)」を押します。



3

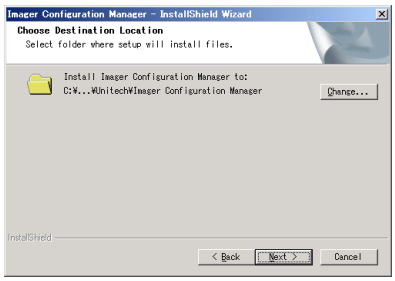
インストールの準備が開始され、右のウィザードが表示されたら「Next>」を押します。



4

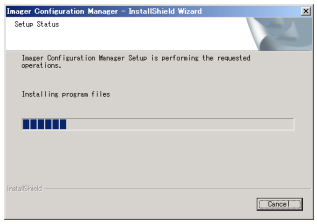
右のインストール先選択ウィザードが出たら「Next(N)」を押します。

メモ
「Chage...」を押すとインストール先を任意に変更できます。



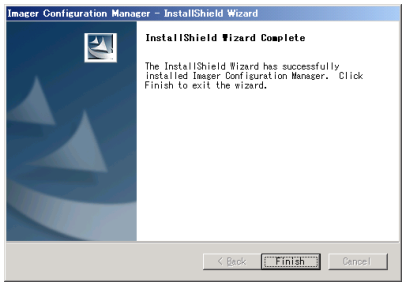
5

インストールが開始されます。



6

インストールが完了しましたので「Finish」を押します。



※

パソコンのデスクトップには、右のアイコンができます。
また、ショートカットはスタートアップへも登録されパソコンの電源がONされるたびに自動的に起動されるようになります。

■パソコンとスキャナの接続

USB インターフェースケーブル付きのスキャナをパソコンのＵＳＢポートに接続してください（図 1 をご参照ください）。パソコンはスキャナをＵＳＢ機器として認識し、自動的に必要なドライバを設定更新します。パソコンとスキャナの接続が完了するとスキャナはブザーを 3 回鳴動します。

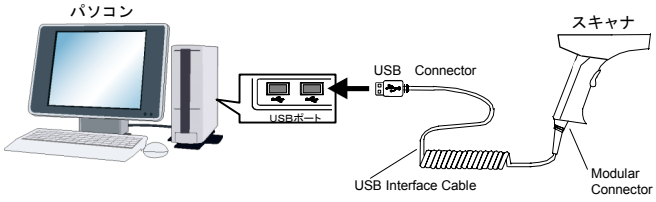
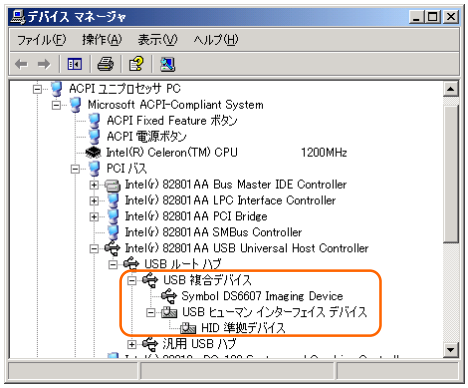


図 1. 接続図

※

スキャナがパソコンに正常に認識されていることを、デバイスマネージャで確認します。下図の線で囲んだ内容が表示されていれば正常に認識されていることを示しています。



注意

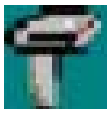
以上のセットアップが完了したら、必ず一度パソコンを再起動してください。

スキャナの読取り動作

スキャナからの読取りデータは、ＩＣＭソフトウェアを介してアプリケーションへデータ入力されます。スキャナでバーコードを読取るときは、ＩＣＭソフトウェアがシステムトレイに常駐されていること（下図の線で囲んだアイコンが現れている）を確認してから行ってください。

■ICMソフトウェアとスキャナが接続中の場合

ＩＣＭソフトウェアとスキャナが正常に接続されているときは次のアイコン表示となります。



メモ

キーボード入力の可能なアプリケーション（エディタ、ワープロ）を起動してバーコードを読ませてください。バーコードを読込むとスキャナは“ピッ”とブザーを鳴らします。パソコン上のアプリケーションに読込んだバーコードのデータが表示されます。

■ICMソフトウェアとスキャナが接続されていない場合

ＩＣＭソフトウェアとスキャナが正常に接続されていないときは次のアイコン表示（下図の線で囲んだ、アイコン右下に×印）となります。

メモ

この場合、スキャナからの読取りデータは、アプリケーションへデータ入力されません。ＩＣＭアイコンを右クリックし「ｃｏｎｎｅｃｔ」をクリックして、ＩＣＭソフトウェアとスキャナを接続してください。

スキャナの外観

●**ＬＥＤ**は緑色に点灯します。
消灯…通電状態で、読取り許可状態を表します。
緑……読取り完了時に点灯します。

●**読取り口**
バーコードの読取り口です。

●**読取りスイッチ**
スイッチをＯＮすると、レーザー光が発光しバーコードの読取りができます。

ＩＣＭソフトウェアの理解

ICMソフトウェアは常駐ソフトウェアであり、次の 2 つの機能を搭載しております。

1．キーボードサービス機能
常駐していて、スキャナで読取ったデータを受信してアプリケーションへ送信します。
2．動作パラメータ設定機能
いろいろな動作パラメータを画面上で選択し、その内容をスキャナに設定します。

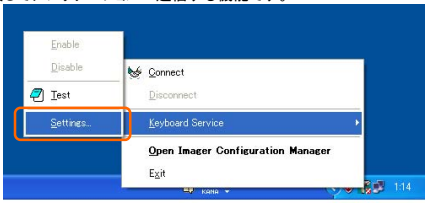
以下に、機能について説明します。

■キーボードサービス機能

スキャナで読取ったデータを受信してアプリケーションへ送信する機能です。

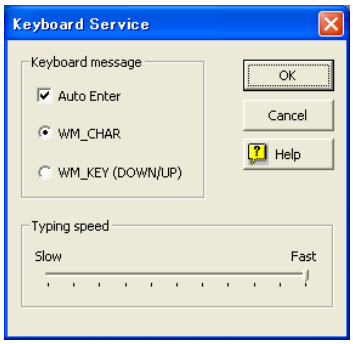
1

ICMアイコンを右クリックし［Keyboard Service］－［Settings］（線で囲んだ項目）をクリックします。



2

右の画面が表示されます。
Keyboard message とTyping speed の設定ができます。



●Keyboard message

＊**Auto Enter**
チェックすると、出力データの最後に改行が付加されます。

＊**VM_CHAR**
高レベルキー入力されます。
漢字データ等の入力が可能となります。

＊**VM_KEY (DOWN/UP)**
低レベルキー入力されます。
キーボード上の半角英数字・記号の入力が可能です。

●Typing speed

＊**Slow 側へスライド**
アプリケーションへ出力するデータのキャラクタ毎の出力間隔が長くなります。

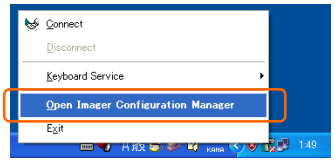
＊**Fast 側へスライド**
アプリケーションへ出力するデータのキャラクタ毎の出力間隔が短くなります。

■動作パラメータ設定機能

いろいろな動作パラメータを画面上で選択し、その内容をスキャナに設定する機能です。

1

ICMアイコンを右クリックし[Open Imager Configuration Manager]（線で囲んだ項目）をクリックします。

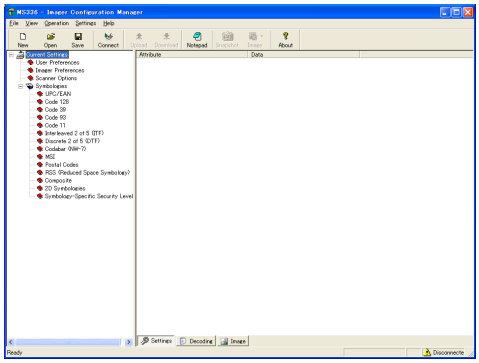


2

右の画面が表示されます。
ICM は右側にワークスペース(作業領域)、左側にスキャナ設定、上部に各機能のアイコン、そしてワークスペースの下部にワークスペースタブがあります。

メモ

動作パラメータを設定する場合は、左側にスキャナ設定と上部に各機能のアイコンを使用します。



■基本的な操作
ICM の上部には基本的な機能を簡単に操作するためのボタンがあります。以下にボタンの説明をします。

●設定プロファイル
ICM を使用して、設定のプロファイルを作成し、これを保存することができます。これらのプロファイルは設定のすべてを含みますので、使用する目的ごとに設定を切り替えて使用することができます。

＊ **New(新規)**
新しい設定プロファイルを作成する時にこのアイコンを選択します。

＊ **Open(開く)**
以前に保存した設定プロファイルを開きます。

＊ **Save(保存)**
現在の設定を設定プロファイルファイルに保存します。

●接続とスキャナ設定

ICM とスキャナを接続したり、ICM を使用してスキャナの動作パラメータを設定することが可能です。

＊ **Connect(接続)**
ICM をスキャナに接続します。

＊ **Upload(アップロード)**
スキャナから ICM に設定をアップロードします。

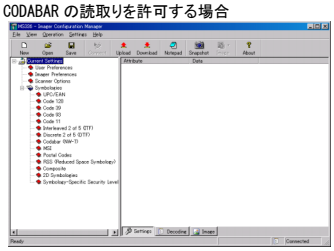
＊ **Download(ダウンロード)**
ICM からスキャナに設定をダウンロードします。

＊ **About(バージョン)**
Imager Configuration Manager のバージョン、イメージャのシリアル番号、ドライバ DLL バージョンとスキャナのバージョンを表示します。

●例)スキャナへ ICM を使用して CODABAR の読取りを許可する場合

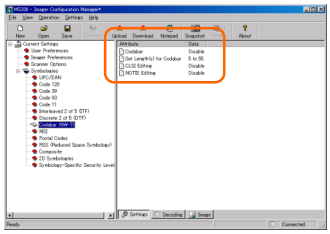
1

ICMアイコンを右クリックし［Open Imager Configuration Manager］をクリックすると、右のICM起動画面が表示されます。



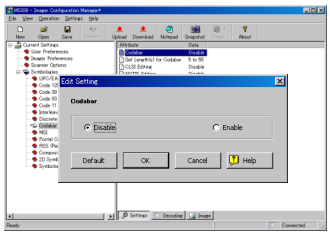
2

左側スキャナ設定で[Synbologies]-[Codabar(NW-7)]をクリックすると、右側ワークスペースへ設定可能な項目が表示されます。
※右側ワークスペースの Codabar 読取り設定項目の値は Disable となっています(ﾃﾞﾌｫﾙﾄ値)。



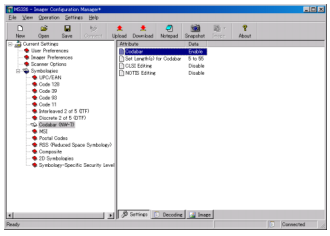
3

右側ワークスペースの[Codabar]をダブルクリックすると、右の Edit Setting 画面がポップアップします。



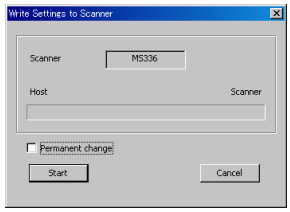
4

Edit Setting 画面で、「Enable」にチェックを入れて「OK」ボタンを押すとポップアップ画面が消えます。
※右側ワークスペースの Codabar 読取り設定項目の値はEnableとなります。



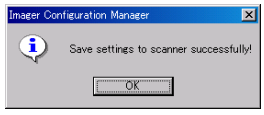
5

ICM 画面の上部 Download ボタンをクリックすると右の Write Settings to Scanner画面が表示されます。
「Permanent Change」をチェックし、「Start」ボタンを押します。
スキャナへ動作パラメータの転送が開始されます。



6

動作パラメータの転送が正常に終了すると右のポップアップ画面が表示されます。
「OK」ボタンを押すと、ICM起動画面が表示されます。ICM を終了させてください。



スキャナ自体の初期化

スキャナで次のバーコードラベルを読取ると、スキャナ自体の動作パラメータを工場出荷時状態(デフォルト)に戻すことができます。動作パラメータへ変更中等に、動作パラメータの設定状況が解らなくなった場合に、このバーコードラベルを読取り、一度スキャナをデフォルト状態に戻してください。

仕様

１Ｄシンボル	JAN-13/8、EAN-13/8、UPC-A/E、インターリーブド 2of5、CODABAR(NW-7)、CODE39、CODE93、CODE128、GS1-128(UCC/EAN-128)、GS1 DataBar(RSS-14)、GS1 DataBar Limited(RSS Limited)、GS1 DataBar Expanded(RSS Expanded)
２Ｄシンボル	DataMatrix、Maxicode、PDF417、QR コード
郵便コード	Japan Postal
光源	可視光半導体レーザー 635nm
センサー	CCD
最大分解能	640 × 480 ピクセル
PCS	70%最小
周囲照度	96900lux(太陽光)
焦点距離(正面から)	近:127mm、遠:228mm
読取り確認	ブザー
動作状況表示	LED (緑)
インターフェース	USBインターフェース(SNAPI / HIDミュレーション)
供給電源	パソコンのUSBポートより供給
寸法	70(W)×100(D)×180(H)mm
重量	約 200g(本体のみ)
使用温度	-20～55℃
使用湿度	5～95%(非結露)
保存温度	-40℃～70℃
保存湿度	5～85%(非結露)

お問い合わせ

■一般的なお問合せ・Web 販売について

株式会社システムギアダイレクト
〒665-0045　兵庫県宝塚市光明町 30 番 12 号
TEL ： 0797-74-1114
FAX ： 0797-74-2212
E-Mail: Web-buyer@nsd-inc.co.jp

■技術的なお問合せについて

サポートデスク
E-Mail: support@nsd-inc.co.jp
TEL ： 0797-74-1114
FAX ： 0797-74-2212

サポートサイト
URL ： http://www.systemgear.co.jp/support/

最新情報
URL ： http://www.systemgear.com/sales/

■修理・保守について

株式会社システムギアダイレクト
〒665-0045　兵庫県宝塚市光明町 30 番 12 号
TEL ： 0797-74-3575
FAX ： 0797-74-2212
E-Mail: repair@systemgear.co.jp

製品保証情報
URL ： http://www.systemgear.com/warranty/

オンライン修理受付
URL ： http://www.systemgear.com/rp/

Microsoft、Windows は米国及びその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。
その他本書に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標です。

2010/01　第 1 版　(GW05KA015-1)

SystemGear
Always the next news